

本時の流れ（第4時）

本時の目標

○ 日射によって気温が変化することが分かる。

課題の把握



【課題】

『配った表は、ある場所の気温の変化をまとめたものです。どんな天気だったでしょう。グラフにして、想像しましょう。』

【課題の把握】

- ☆ 前時までの学習を受け、気温の変化からそのときの天気を推測しようという課題である。児童は、天気（日射）が気温に影響していることに気付いていると思われる。日射の有無による気温変化が明確なデータを選び、児童に提示するようにする。
- ☆ 気温変化の様子が異なった2か所のデータを用意し、それぞれに予想させる。

天気の予想

ワークシートはこちら

CLICK



（指示）グラフから、その日の天気を予想しよう。

【予想】

- ☆ 気温の変化をまとめた表からグラフを作成する過程で、天気の変化を予想する。グラフ化する作業が気付きを引き出すため、敢えてグラフの作業を行わせる。
- ☆ 2か所のデータを対比することで、気温変化が明確になるよう、天候が大きく異なる2か所のデータを用意するようにする。
- ☆ 児童の状況に合わせ、気温は低い天気がよく日較差が大きいところ、気温は高い天気が悪く日較差の小さいところ等を選ぶ。

意見交流



（発問）どう予想しましたか？

【交流】

- ☆ 理由を明確にして日射を予想させることが重要である。前時までの学習内容とつなげて理由付けること、気温の変化を元に理由付けること等、できるだけ多くの視点で理由付けるよう、働きかける。
- ☆ 2種類の地点のデータを取り上げるが、児童の実態に合わせ、同一の地点で測定日を変えたデータにする等、配慮する。

天気の確認



（指示）予想を確かめよう。

【確認】

- ☆ 天気の変化について記したものを配付し、自らの予想と比べさせる。
- ☆ 予想どおりであったところ、予想どおりではなかったところを明確にさせる。

学習のまとめ

【まとめ】

- ☆ 実際の天候を記したものを配付し、自分の予想を振り返らせるが、予想と実際の天候が予想どおりであったところ、予想と違っていたところ、新たに気付いたところ等、できるだけ詳しく記述させる。
- ☆ 結果を考察する力を育てるため、**正しく予想できていたかどうかと、そこから分かること、気付いたこと等を分けて記述させる**ことが重要である。
- ☆ 不思議に思ったこと、さらに確かめてみたいこと等についても記述させ、第2次の学習に生かすことができるよう、発表し合ったり、時間を改めて紹介したりする。